

リチウムイオン電池は、充電して繰り返し使用できる電池です。スマートフォンやモバイルバッテリーのほか、ワイヤレスイヤホン、スマートウォッチ、携帯用扇風機など、身近な製品に広く使われています。近年は、持ち歩いていたモバイルバッテリーなどが発煙・発火する事故が度々報道されています。

【事例】

- スマートフォン用モバイルバッテリーが膨らみ、爆発するのではないかと恐怖を感じる。海外製でメーカーは不明である。安全に処分したいが、捨て方が分からない。
- 3年前にネット通販で購入したリチウムイオン電池搭載の自転車用ライトが、走行中に突然爆発し、腹部にやけどを負った。

アドバイス

- 製造・販売元・型式が不明な商品や、仕様がはっきりしない商品の購入は避けましょう。充電器やモバイルバッテリーは「PSEマーク」の有無を確認してから購入しましょう。

※PSEマークは、日本の電気用品安全法の基準を満たしている製品に表示されるマークです。

- 高温は事故の原因になるため、直射日光下や車内、暖房器具の近くなど、熱がこもる環境での使用・放置は



避けましょう。落下などの強い衝撃も発煙・発火につながる恐れがあります。持ち運びや保管時の取り扱いには注意しましょう。

- 膨張、異臭、発熱、変形などの異常がある場合は、直ちに使用を中止しましょう。
- 使用しなくなったリチウムイオン電池は、金属製の容器や耐火性の袋に入れて保管し、絶対に一般ごみには出さないでください。旭市での処分方法は、市ホームページで確認してください。
- 不安に思った場合は、消費者ホットライン(☎188)や消費生活センターに相談してください。

岡旭市消費生活センター(☎63-7272)・相談直通電話(☎62-8019)